

2021 年度

シラバス

四国歯科衛生士学院専門学校

第 47 期生（第 2 学年）

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
基礎分野 3	実践歯科英語	2	30	90分 × 20コマ	講義・演習
開講年度および時期	担当教員	評価方法			教科書及び参考資料他
2021年度 前期	ポテズワ・ジェフリー・マーク	1)科目終了時の学科試験(50点) 2)英会話での質疑応答試験(50点)			毎回プリント配布
一般目標	国際化社会に対応できる歯科衛生士になるために、臨床で使用する歯科用語や歯科表現を学び実践で役立つ英語を修得する。				
到達目標	①専門的な英単語や略語の意味を理解できる。 ②専門的な英単語や略語を書くことができる。 ③英語でコミュニケーションをとることができる。				
授業計画					
回	単元	形態	内容		備考
1	歯科治療前の英会話	講義	治療前の受付での会話		
2	歯科診療チェアへの誘導	講義	位置・姿勢・動作の指示		
3	患者への問診①	講義	問診(既往歴)		
4	患者への問診②	講義	問診(一般症状)		
5	歯科保健指導の英会話	講義	ブラッシング指導		
6	歯科診療で使用する歯科用語①	講義	歯科疾患, 歯科治療用語		
7	歯科診療で使用する歯科用語②	講義	問診(歯周疾患, 顎関節症)		
8	歯科診療で使用する歯科用語③	講義	検査(X線撮影)		
9	歯科治療の説明	講義	治療後の注意事項		
10	歯科治療後の英会話	講義	治療後の受付での会話		
11	英会話①	演習	治療前の受付での会話		
12	英会話②	演習			
13	英会話③	演習	患者誘導		
14	英会話④	演習			
15	英会話⑤	演習	患者とのコミュニケーション		
16	英会話⑥	演習			
17	英会話⑦	演習	治療後の注意事項		
18	英会話⑧	演習			
19	英会話⑨	演習	治療後の受付での会話		
20	英会話⑩	演習			

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
基礎分野 6	プレゼンテーションⅡ (前期臨床実習・臨地実習)	1	30	90分 × 20コマ	演習
開講年度および時期	担当教員および実務経験		評価方法		教科書及び参考資料他
2021年度 前期	下谷 陽子		1) 事前学習レポート(40点)	臨地実習ハンドブック(クインテッセンス出版)	
	歯科診療所、病院、介護施設、保育園、小学校、地域包括支援センター等での歯科衛生業務経験がある教員が、臨床・臨地実習の事前学習、実習計画、学習法などを指導する科目である。		2) 実習報告会発表(50点) 3) 振り返りレポート(10点)	臨床実習ハンドブック(クインテッセンス出版)	
一般目標	臨床・臨地実習の学びを充実させるために、実習の開始前・実習中・終了後の学び方を学習し、主体性を持って学ぶことができる能力を修得する。				
到達目標	①オリエンテーションを理解できる。 ②実習の目標を理解する。 ③実習先を把握し、それに備えて事前に学習できる。 ④臨床・臨地実習で学んだこと、経験したことをプレゼンテーションできる。				
授業計画					
回	単元	内容			備考
1	オリエンテーション①	臨床・臨地実習要項オリエンテーション			臨床・臨地実習要項
2	オリエンテーション②	実習記録用紙の配付			臨床・臨地実習要項
3	事前学習	事前学習(チェックリスト表)			臨床実習ハンドブック 臨床臨地実習ファイル
4	事前学習	事前学習(チェックリスト表)			臨床実習ハンドブック 臨床臨地実習ファイル
5	実習記録①	実習記録の書き方			臨床実習ハンドブック 臨床臨地実習ファイル
6	実習記録②	実習記録の書き方			臨床実習ハンドブック 臨床臨地実習ファイル
7	前期臨床臨地実習の振り返り	前期臨床・臨地実習 I 期の振り返り			臨床実習ハンドブック
8	前期臨床臨地実習の振り返り	前期臨床・臨地実習 I 期の振り返り			臨床実習ハンドブック
9	前期臨床臨地実習の振り返り	前期臨床・臨地実習 I 期の振り返り			臨床実習ハンドブック
10	前期臨床臨地実習の振り返り	前期臨床・臨地実習 I 期の振り返り			臨床実習ハンドブック
11	前期臨床臨地実習の振り返り	前期臨床・臨地実習の振り返り			臨床実習ハンドブック
12	前期臨床臨地実習の振り返り	前期臨床・臨地実習の振り返り			臨床実習ハンドブック
13	報告会の準備	スライドの作成			パソコン・USB
14	報告会の準備	スライドの作成			パソコン・USB
15	報告会の準備	スライドの作成・発表の練習			パソコン・USB
16	報告会の準備	スライドの作成・発表の練習			パソコン・USB
17	実習報告会①	前期臨床・臨地実習報告会			★発表
18	実習報告会②	前期臨床・臨地実習報告会			★報告会レポート提出
19	実習報告会③	前期臨床・臨地実習報告会			★発表
20	実習報告会④	前期臨床・臨地実習報告会			★報告会レポート提出

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
専門基礎分野 19	衛生学・公衆衛生学	2	15	90分 × 10コマ	講義
開講年度および時期	担当教員および実務経験		評価方法		教科書及び参考資料他
2021年度 前期・後期	廣島 佑香		1)科目終了時の学科試験(100点)		保健生態学(医歯薬出版)
	歯周病と糖尿病に関する研究者であり、歯科医師としての臨床経験のある教員が、健康を左右する環境、健康に関わる地域の役割について指導する科目である。				
一般目標	様々な環境やライフステージにおける歯科医療に対応するために、健康と予防に関わる人間と社会の仕組みを理解する。				
到達目標	①健康と予防医学の概念を理解できる。 ②人間をとりまく健康を左右する環境について理解できる。 ③集団を対象とした地域保健活動のあり方を理解できる。 ④他職種と歯科衛生士の関わりについて理解できる。				
授業計画					
回	単元	内容			備考
1	総論 疫学	公衆衛生の定義, 健康の概念 健康増進対策, ヘルスプロモーション 疫学の定義・方法			
2	人口 健康と環境①	人口に関する統計, 生命表とは 環境と健康の概念, 生活環境(空気・水・放射線・住居環境等)			
3	健康と環境② 感染症①	地球環境の変化と健康への影響, 公害・廃棄物の処理 感染と発症・予防			
4	感染症② 食品と健康①	主な感染症の動向と予防 食中毒, 機能性食品, 食品添加物			
5	食品と健康② 前半のまとめ	国民栄養の現状, 食育基本法 試験問題の対策, 前半項目についての質疑			
6	母子保健① 母子保健②	母子保健の統計, 母性保健管理 保健組織活動, 学校保健活動の推進			
7	学校保健① 学校保健②	学校保健の意義, 学校保健の活動と組織 保健組織活動, 学校保健活動の推進			
8	成人・老人保健① 成人・老人保健②	成人・老人保健の現状, 生活習慣病とその予防 成人保健と老人保健, 介護サービス			
9	産業保健① 産業保健②	産業保健の概念, 労働災害と職業性疾病 産業保健管理, 産業保健活動			
10	精神保健 全単元のまとめ	主な精神障害, 精神保健対策 試験問題の対策, 全項目についての質疑			

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
専門基礎分野 20	統計活用法	1	30	90分 × 20コマ	演習
開講年度および時期	担当教員および実務経験		評価方法		教科書及び参考資料他
2021年度 前期・後期	本那 智昭		1)レポート(50点) 2)科目終了時の学科試験(50点)		保健情報統計学(医歯薬出版)
	歯科疾患の予防が研究テーマであり、歯科医師としての臨床経験のある教員が、基本的な歯科衛生統計に関する知識や、コンピュータを用いての統計処理の手法を指導する科目である。				
一般目標	現代社会のニーズに合った保健情報の取り扱いができるようになるために、関連する情報を把握し、衛生統計の手法を修得する。				
到達目標	①それぞれに応じた保健情報の収集方法を選択できる。 ②データの数値のもつ特徴を説明できる。 ③それぞれに応じたデータの処理・解析方法を選択できる。 ④コンピュータを用いた基本的な統計処理ができる。				
授業計画					
回	単元	形態	内容		備考
1 2	保健情報と保健統計		保健情報・統計についての概論		コンピューター必要
3 4	保健情報と疫学		疫学の方法論		コンピューター必要
5 6	実際の統計処理①		データ入力		コンピューター必要
7 8	実際の統計処理②		データ処理方法について		コンピューター必要
9 10	実際の統計処理③		データ処理演習		コンピューター必要
11 12	実際の統計処理④		データ処理演習		コンピューター必要
13 14	歯科疾患の指数①		歯科疾患の指数・概論		
15 16	歯科疾患の指数②		歯科疾患の指数・各論		
17 18	保健情報の分析手順		各種統計の利用方法について		
19 20	保健統計の方法		保健統計の実際(各論)		

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
専門分野 32	高齢者歯科学	1	30	90分 × 20コマ	演習
開講年度および時期	担当教員および実務経験	評価方法			教科書及び参考資料他
2021年度 前期・後期	青田 桂子・可児 耕一 大学病院で専門性の高い口腔外科の臨床経験のある歯科医師が、高齢者を支える法制度、高齢者の特性、疾患の特性と薬剤、要介護高齢者に必要な口腔ケアの重要性を指導する科目である。	1)科目終了時の学科試験(100点)			高齢者歯科学(医歯薬出版)
一般目標	高齢者に寄り添うことができる歯科衛生士になるために、高齢者を取り巻く環境や心身機能の変化を理解する。				
到達目標	①高齢者の特性を理解できる。 ②要介護高齢者に必要な口腔ケアの重要性を理解できる。 ③高齢者に多い疾患の特性と薬剤について理解できる。 ④高齢者を支える法制度について理解できる。				
授業計画					
回	単元	内容			備考
1	高齢者を取りまく社会と環境	高齢者社会と健康, 法制度, 居住形態・入院設備の特徴			
2					
3	加齢による身体的・精神的変化と疾患	加齢に伴う心身の変化, 高齢者に多い全身疾患・障害・口腔疾患			
4					
5	高齢者の状態の把握①	高齢者の生活機能評価, 高齢者歯科と臨床検査			
6					
7	高齢者の状態の把握②	高齢者の栄養状態・薬剤服用			
8					
9	口腔のケア①	高齢者に対する口腔ケア, 有病高齢者への口腔ケア			
10					
11	口腔のケア②	要介護高齢者への口腔ケア			
12					
13	摂食嚥下リハビリテーション①	高齢者のリハビリテーションの概要, 摂食嚥下の評価と対応			
14					
15	摂食嚥下リハビリテーション②	誤嚥性肺炎の予防, 在宅訪問歯科診療における摂食嚥下リハ			
16					
17	高齢者に関わる医療と介護①	在宅訪問診療の概要, 歯科衛生士に関わる公的介護保険の概要			
18					
19	高齢者に関わる医療と介護②	かかりつけ歯科の役割, 訪問看護と歯科の役割			
20					

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
専門分野 35	歯科予防処置論Ⅱ(演習)	2	60	90分 × 40コマ	演習
開講年度および時期	担当教員および実務経験		評価方法		教科書及び参考資料他
2021年度 前期・後期	下谷 陽子	実技試験(90点) その他の項目(10点)レポート・小テスト等		歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版) PMTC2(医歯薬出版) 高齢者歯科学(医歯薬出版) 小児歯科学(医歯薬出版)	
	歯科衛生士としての臨床経験のある教員が、 歯周疾患やう蝕予防のための知識を強化し、 諸検査、歯科疾患予防の臨床的実践力を身 につけるための指導を行う科目である。				
一般目標	歯科臨床での歯周疾患やう蝕予防処置ができる歯科衛生士になるために、知識や技術を修得する。				
到達目標	①口腔内診査の検査項目・方法を実施できる。 ②予防的歯石除去、歯面研磨、歯面清掃器、PMTC,PTC実施できる。 ③小窩裂溝填塞の材料の種類に応じた填塞ができる。 ④各種フッ化物の特徴と臨床への応用が実施できる。 ⑤ 高齢者および小児の口腔内の口腔健康管理ができる。				
授業計画					
回	単元	形態	内容		備考
1	臨床予備演習(要介護高齢者)	演習	USブラシを使用した歯肉の炎症部位の清掃法(術者磨き)		実技試験:術者磨き
2	臨床予備演習(幼児)	演習	USブラシを使用した歯肉の炎症部位の清掃法(術者磨き)		実技試験:術者磨き
3	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	超音波スケーラー, 歯面研磨,		顎模型使用 マニキュアを塗っておく
4	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	超音波スケーラー, 歯面研磨,		顎模型使用
5	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	超音波スケーラー, 歯面研磨,		顎模型使用
6	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	超音波スケーラー, 歯面研磨,		顎模型使用
7	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	口腔内診査, 超音波スケーラー, 歯面研磨, (問診・歯周組織検査・PCR測定・CPIなど)		相互演習
8	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	口腔内診査, 超音波スケーラー, 歯面研磨, (問診・歯周組織検査・PCR測定・CPIなど)		相互演習
9	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	口腔内診査, 超音波スケーラー, 歯面研磨, (問診・歯周組織検査・PCR測定・CPIなど)		相互演習
10	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	口腔内診査, 超音波スケーラー, 歯面研磨, (問診・歯周組織検査・PCR測定・CPIなど)		相互演習
11	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	口腔内診査, 手用スケーラー, 歯面研磨,		顎模型使用 マニキュアを塗っておく
12	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	口腔内診査, 手用スケーラー, 歯面研磨,		顎模型使用
13	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	口腔内診査, 手用スケーラー, 歯面研磨,		顎模型使用
14	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	口腔内診査, 手用スケーラー, 歯面研磨,		顎模型使用
15	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	PMTC		顎模型使用
16	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	PMTC		顎模型使用
17	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	PMTC		顎模型使用
18	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	PMTC		顎模型使用
19	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	PMTC		相互演習
20	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	PMTC		相互演習

21	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	PMTG	相互演習
22	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	PMTG	相互演習
23	小窩裂溝充填塞(模型実習)	演習	レジン系小窩裂溝充填塞材・セメント系小窩裂溝充填塞材使用	顎模型使用
24	小窩裂溝充填塞(模型実習)	演習	レジン系小窩裂溝充填塞材・セメント系小窩裂溝充填塞材使用	顎模型使用
25	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	歯面清掃(エアポリッシャー)	相互演習
26	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	歯面清掃(エアポリッシャー)	相互演習
27	歯科衛生アセスメントのための情報収集	演習	口腔内情報収集	
28	歯科衛生アセスメントのための情報収集	演習	口腔内情報収集	
29	歯科衛生アセスメントのための情報収集	演習	分析のためのデータ	
30	歯科衛生アセスメントのための情報収集	演習	う蝕活動性試験	
31	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	個々の口腔内に応じた歯科予防処置・歯科保健指導	
32	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	個々の口腔内に応じた歯科予防処置・歯科保健指導	
33	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	個々の口腔内に応じた歯科予防処置・歯科保健指導	
34	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	個々の口腔内に応じた歯科予防処置・歯科保健指導	
35	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	個々の口腔内に応じた歯科予防処置・歯科保健指導	
36	歯科衛生介入としての歯科予防処置	演習	個々の口腔内に応じた歯科予防処置・歯科保健指導	
37	歯科衛生過程の基礎知識	演習	歯科衛生過程の考え方	
38	歯科衛生介入のための予防処置	演習	スケーリング	
39	歯科衛生介入のための予防処置	演習	歯面研磨・歯面清掃	
40	歯科衛生介入のための予防処置	演習	フッ化物の応用	

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
専門分野 35	歯科予防処置論Ⅱ(講義)	2	15	90分 × 10コマ	講義
開講年度および時期	担当教員および実務経験		評価方法		教科書及び参考資料他
2021年度 前期	下谷 陽子 歯科衛生士としての臨床経験のある教員が、 歯周疾患や歯蝕予防のための知識を強化し、 諸検査、歯科疾患予防の臨床的実践力を身 につけるための指導を行う科目である。	1) 確認テスト・提出物の評価(10点) 2) 科目終了時の学科試験(90点)		歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版) PMTC2(医歯薬出版) 高齢者歯科学(医歯薬出版) 小児歯科学(医歯薬出版)	

一般目標	歯科臨床での歯周疾患の予防や歯蝕予防処置ができる歯科衛生士になるための知識を修得する。
------	---

到達目標	①臨床で行われる歯科疾患の予防に対する歯科衛生士の役割りが説明できる。 ②口腔内診査の検査項目・方法を説明できる。 ③予防的歯石除去、歯面研磨、歯面清掃器、PMTC、PTC意義と手順が説明できる。 ④小窩裂溝填塞の材料の種類とその適応が説明できる。 ⑤各種フッ化物の特徴と臨床への応用が説明できる。 ⑥ 高齢者および小児の口腔内の特徴が説明できる。
------	---

授業計画

回	単元	形態	内容	備考
1	臨床予備演習(要介護高齢者)	講義	口腔内観察、問題点の抽出、指導内容などの記録(口腔内写真を見て行う)	臨床実習記録用紙「歯科保健指導」使用
2	臨床予備演習(小児)	講義	幼児の発達、口腔内の把握と歯科健康診査	レポート提出
3	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理	講義	口腔の器質的問題の把握(検査項目の把握)	
4	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理	講義	口腔の機能的問題の把握(検査項目の把握)	
5	歯科衛生介入としての歯科予防処置	講義	手用スケーラー・超音波スケーラー・エアースケーラー	
6	歯科衛生介入としての歯科予防処置	講義	歯面清掃器・PMTC・PTC	
7	歯科衛生介入としての歯科予防処置	講義	フッ化物の応用(カリエスリスクを考慮したフッ化物応用方法)	
8	歯科衛生介入としての歯科予防処置	講義	フッ化物の応用(カリエスリスクを考慮したフッ化物応用方法)	
9	歯科衛生介入としての歯科予防処置	講義	症例に応じた小窩裂溝填塞材の種類と方法	
10	歯科衛生介入としての歯科予防処置	講義	症例に応じた小窩裂溝填塞材の種類と方法	

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
専門分野 38	歯科保健指導論Ⅱ(演習)	1	30	90分 × 20コマ	演習
開講年度および時期	担当教員および実務経験		評価方法		教科書及び参考資料他
2021年度	増田 洋子 (担当1~14)	1)対象者の把握(10)		歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版)	
	小中学校の児童生徒や高齢者への健康教育を実施している教員が、小学校とデイサービスセンターでの集団歯科保健指導の指導案、媒体作成を行い、展開法を指導する演習の科目である。	2)歯科保健指導準備の取り組み(30)		臨地実習ハンドブック(クインテッセンス出版)	
前期・後期		3)リハーサル(20)、レポート(10)			
	4)指導案の作成(30)				

船奥 律子(担当15~20)	小中学校の児童生徒や高齢者への健康教育を実施している教員が、小学校とデイサービスセンターでの集団歯科保健指導の指導案、媒体作成を行い、展開法を指導する演習の科目である。
----------------	--

一般目標	対象集団の口腔健康支援ができる歯科衛生士になるために、集団歯科保健指導の計画、実施ができる。
------	--

到達目標	①対象集団の歯科疾患の発生リスクが説明できる。 ②生活行動の問題を解決する指導計画を立案できる。 ③保健行動の動機づけとなる媒体が作成できる。 ④歯科保健指導案に基づいた歯科保健指導ができる。 ⑤終了後改善事項を提案し、改善策を協議できる。
------	--

授業計画

回	単元	形態	内容	備考
1	学童への集団歯科保健指導	演習	指導案の作成(主題・ねらい・指導内容の検討)①	すべてグループワークで行う
2	(小学校)	演習	指導案の作成(主題・ねらい・指導内容の検討)②	レポート提出
3		演習	指導案の作成(主題・ねらい・指導内容の検討)③	
4		演習	指導案の作成(主題・ねらい・指導内容の検討)④	指導案提出(1回目)
5		演習	指導に必要な原稿・媒体・資料の作成①	
6		演習	指導に必要な原稿・媒体・資料の作成②	
7		演習	指導に必要な原稿・媒体・資料の作成③	
8		演習	指導に必要な原稿・媒体・資料の作成④	
9		演習	リハーサル①	
10		演習	リハーサル②, 指導案の検討	指導案提出(2回目)
11		演習	★実技試験(1年生への発表)①	
12		演習	★実技試験(1年生への発表)②	
13		演習	指導内容の振り返り	
14		演習	指導内容の改善	
15	高齢者への集団歯科保健指導	演習	老人デイサービスセンター利用者の対象把握及び情報収集	指導案提出(1回目)
16	(老人デイサービスセンター)	演習	指導案作成(主題・ねらい・指導内容の検討)	
17		演習	指導に必要な原稿・媒体・資料の作成	
18		演習	リハーサル①	
19		演習	リハーサル②, 指導案の検討	指導案提出(2回目)
20		演習	★実技試験(老人デイサービスセンター)	

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
専門分野 38	歯科保健指導論Ⅱ(講義)	1	15	90分 × 10コマ	講義
開講年度および時期	担当教員および実務経験		評価方法		教科書及び参考資料他
2021年度	増田 洋子	小中学校の児童生徒や高齢者への健康教育を実施している教員が、地域歯科保健活動における健康教育を指導する科目である。	1) 提出物(20) 2) 学科試験(80)		歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版) 臨地実習ハンドブック(クインテッセンス出版)
前期					
一般目標	健康教育活動の場で指導するために、必要な専門知識、技術および態度を習得する。				
到達目標	①健康教育の対象と場の特徴を概説できる。 ②健康教育の評価を説明できる。 ③健康教育活動の方法を説明できる。 ④健康教育に必要な情報を収集できる。				
授業計画					
回	単元	形態	内容		備考
1	地域歯科保健活動における健康教育	講義	健康教育の概要・健康教育の進め方		
2		講義	健康教育の方法		
3	地域歯科保健活動のフィールド	講義	保育所・幼稚園・学校		
4		講義	事業所・保健所・市町村保健センター・地域・病院・施設		
5	対象者の特性とニーズの把握	講義	乳幼児・学齢期		
6		講義	青年期・成人期・老年期		
7	対象者の特性とニーズの把握	講義	要介護高齢者・障害者		
8		講義	大規模災害被災者		
9	情報収集	講義	低学年・中学年・高学年の対象把握及び情報収集①		
10		講義	低学年・中学年・高学年の対象把握及び情報収集②		レポート提出

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
専門分野 41	歯科診療補助論Ⅱ(講義)	1	15	90分 × 10コマ	講義
開講年度および時期	担当教員および実務経験	評価方法		教科書及び参考資料他	
2021年度 前期	岡本浩 病院で臨床検査技師として勤務する教員が、医療の領域に働く者として最低限必要な基礎知識と最近の知見を講義し、臨床検査データから病態のアセスメントができるように指導する科目である。	1)科目終了時の学科試験(100点)		臨床検査法(医歯薬出版) 歯科診療補助論(医歯薬出版)	
一般目標	歯科衛生士として病態の判断・指導ができるようになるために、臨床検査の基本的知識と病気をもつ患者に対応するうえで必要な態度と技能を修得する。				
到達目標	①各種生体検査を概説できる。 ②各種検体検査を概説できる。 ③臨床検査データを理解し、病態の判断ができる。				
授業計画					
回	単元	内容			備考
1	臨床検査とは	教科書による 1章序説			
2	生体検査①	体温, 血圧, 心電図			
3	生体検査②	肺機能, 筋電図, 脳波, 血中酸素濃度			
4	検体検査①	尿検査, 血液型			
5	検体検査②	生化学検査項目, 検査項目の意義			
6	検体検査③	生化学検査項目, 検査項目の意義			
7	検体検査④	感染症検査, 細菌検査, ウイルス検査			
8	検体検査⑤	免疫・血清検査			
9	口腔領域の検査	口腔領域の検査, 摂食嚥下			
10	主な疾患・病態別検査値のとらえ方	糖尿病, その他			

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
専門分野 41	歯科診療補助論Ⅱ(演習)	2	60	90分 × 40コマ	演習
開講年度および時期	担当教員および実務経験		評価方法		教科書及び参考資料他
2021年度 前期・後期	原 幸 歯科衛生士としての臨床経験がある教員が、本格的な臨床を体験する学年である学生に知識と臨床応用技術を修得するための講義や演習を指導する科目である。		1)実技試験(50点) 2)実技確認テスト(20点) 3)感染対策レポート(15点) 4)保険請求事務確認テスト(15点)		歯科診療補助論(医歯薬出版) 歯科材料(医歯薬出版) 歯科機器(医歯薬出版) 他
廣島佑香	担当1~6回	緑膿菌、抗菌薬抵抗性、バイオフィルムの研究者である教員が、感染対策のため、学生自身のワクチン接種、感染予防、針刺し事故発生時の対応等を指導する科目である。			
酒井みね	担当7~12回	歯科衛生士の教員が、歯科受診者に関する社会保障制度、歯科医療保険のしくみ、歯科診療の保険請求に関する事務手続きを指導する科目である。			
一般目標	1学年で学んだ基本的な知識や技術を応用できるようになるために、より臨床的な講義や演習を行い知識や技術を修得する。				
到達目標	①治療の流れと目的を理解できる。 ②治療内容に応じた器材の準備ができる。 ③治療内容に応じた補助ができる。 ④歯科材料の正しい取り扱いができる。 ⑤自身の抗体検査結果が説明できる。 ⑥簡単な歯科診療の保険請求作業ができる。				
授業計画					
回	単元	内 容			備 考
1	感染対策①	感染対策のため、学生自身のワクチン接種、感染予防、針刺し事故発生時の対応			1~6廣島佑香
2	感染対策②				抗体検査結果および判定表
3	感染対策③	誤嚥性肺炎について			
4	感染対策④	新型コロナウイルス感染症			
5	感染対策⑤	臨床現場での注意点／歯科診療で注意が必要な病原体			
6	感染対策⑥	感染経路別予防対策			レポート提出
7	保険請求事務①	歯科受診者に関する社会保障制度、歯科医療保険のしくみ			7~12酒井みね デンタルスタッフのための歯科保険診療ハンドブック
8	保険請求事務②	歯科医院での保険請求と事務業務			
9	保険請求事務③	歯科医院での保険請求と事務業務			
10	保険請求事務④	歯科医院での保険請求と事務業務			
11	保険請求事務⑤	歯科医院での保険請求と事務業務			
12	保険請求事務⑥	歯科医院での保険請求と事務業務			確認テスト
13	1年次の復習／口腔内診査	バキューム、ライティング等／歯科診療録記載時に必要な知識・歯式の記入			
14	歯科臨床と診療補助①	保存修復時の診療補助 直接修復(光重合型コンポジットレジン修復)の手順と使用器材			保存修復・歯内療法(医歯薬出版)

15	歯科臨床と診療補助②	保存修復時の診療補助 間接修復(インレー)の手順と使用器材	保存修復・歯内療法(医歯薬出版)
16	歯科臨床と診療補助③	保存修復時の診療補助 漂白法の手順と使用器材	
17	歯科臨床と診療補助④	精密印象採得(左下6 2級窩洞)	白衣
18	歯科臨床と診療補助⑤	精密印象採得(左下6 2級窩洞)	
19	歯科臨床と診療補助⑥	歯内療法時の診療補助 歯髄処置, 根管充填	保存修復・歯内療法(医歯薬出版)
20	歯科臨床と診療補助⑤	補綴治療時の診療補助 クラウン・ブリッジ(前歯部前装铸造冠)の手順と使用器材	歯科補綴(医歯薬出版)
21	歯科臨床と診療補助⑥	精密印象採得(右下6 コア)	白衣
22	歯科臨床と診療補助⑦	精密印象採得(右下6 コア)	
23	歯科臨床と診療補助⑧	精密印象採得(右上7 クラウン)	白衣
24	歯科臨床と診療補助⑨	精密印象採得(右上8 クラウン)	
25	歯科臨床と診療補助⑩	既製冠を用いたテンポラリークラウンの作製, 仮着/概形印象採得と普通石膏の注入	白衣, 顎模型, 小筆
26	歯科臨床と診療補助⑪	既製冠を用いたテンポラリークラウンの作製, 仮着/概形印象採得と普通石膏の注入	
27	歯科臨床と診療補助⑫	既製冠を用いたテンポラリークラウンの作製, 仮着/概形印象採得と普通石膏の注入	白衣, 顎模型, 小筆
28	歯科臨床と診療補助⑬	既製冠を用いたテンポラリークラウンの作製, 仮着/概形印象採得と普通石膏の注入	
29	歯科臨床と診療補助⑭	補綴治療時の診療補助 部分床義歯治療の手順と使用器材	歯科補綴(医歯薬出版)
30	歯科臨床と診療補助⑮	補綴治療時の診療補助 インプラント一時手術の手順と使用器材	
31	歯科臨床と診療補助⑯	歯周外科治療の診療補助 フラップ手術の手順と使用器材	歯周病学(医歯薬出版)
32	歯科臨床と診療補助⑰	口腔外科治療時の診療補助 抜歯時の業務, 普通抜歯の手順と使用器材, 難抜歯の手順と使用器材	口腔外科・歯科麻酔(医歯薬出版)
33	歯科臨床と診療補助⑱	口腔外科治療時の診療補助 その他器材の名称	口腔外科・歯科麻酔(医歯薬出版)
34	歯科臨床と診療補助⑲	歯科麻酔時の診療補助 局所麻酔, 吸入鎮静・静脈内鎮静, 全身麻酔の手順と使用器材	
35	歯科臨床と診療補助⑳	矯正治療時の診療補助 使用器材の名称, 患者指導	歯科矯正(医歯薬出版)
36	歯科臨床と診療補助㉑	矯正治療時の診療補助 バンド合着の手順, マルチブラケット装置の装着, バンドの撤去	
37	歯科臨床と診療補助㉒	小児歯科治療時の診療補助	小児歯科(医歯薬出版)
38	歯科臨床と診療補助㉓	障害者歯科治療時の診療補助	障害者歯科(医歯薬出版)
39	まとめ		
40	まとめ		

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
専門分野 11	臨地実習Ⅱ	12	540	約7時間 × 80日間	実習
開講年度および時期	担当教員および実務経験	評価方法		教科書及び参考資料他	
2021年度 前期・後期	井上紀子・谷野 愛 他 歯科医師、歯科衛生士としての臨床経験のある指導者が、外来患者を対象とする歯科医療の現場で歯科衛生業務を指導する科目である。	「実習記録」「評価表」「出席状況」を評価 前期(6単位) (50点) 歯科診療所 後期(4単位) (33点) 徳島大学病院 臨地(2単位) (17点) 小学校、高齢者施設他		臨床臨地実習実施要項 臨床実習ハンドブック 臨地実習ハンドブック	
前期	一般目標	修得した基本的な知識及び技能を、臨床実習現場でさらに高めるとともに、患者さんやさまざまな歯科医療従事者と深くかかわりをもつことで、歯科衛生士としての自覚を高める。			
	到達目標	①歯科診療が臨床の場でどのように展開されているのかを理解する。 ②知識の裏づけのもとに原則、基本をふまえて実習を行う。 ③歯科医療を支えている他職種者の業務を理解し、その中の歯科衛生士としての役割を認識する。 ④患者さんを理解し、患者さんの変化を察知できるように「観察する目」と「感じる心」を深める。			
後期	一般目標	職業人としての責任とマナーを土台として専門領域に関する知識の修得と、技術の修練を積み重ね、将来の現場に応用展開できるような能力を養う。			
	到達目標	①基礎から応用にステップをふんだうえて、最も適切な工夫、応用の効いた手技ができる。 ②知識の裏づけのもとに原則、基本をふまえて実習を行う。 ③歯科診療所や病院を訪れる患者さんのニーズを理解し、歯科医師と患者さんの相互理解の仲介者となれるよう努力する。 ④歯科診療時のチームワークを緊密にして、歯科衛生士としての自分の役割を責任をもって果たす。			
授業計画					
回	単元	内容			備考
前期	前期臨地実習	歯科診療所における歯科診療所での実習 Ⅰ期 2020年 6月 1日～6月27日 計20日 Ⅱ期 2020年 6月30日～7月28日 計20日			
後期	後期臨地実習	徳島大学病院での実習 2021年 1月18日～2月26日 計27日			
前期 後期	臨地実習	1) 高齢者・障害者臨地実習 2) 小学校歯科保健指導実習 3) 幼稚園、保育園歯科保健指導実習 4) 病院見学実習 5) 地域歯科保健事業見学実習			

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
選択分野 46	臨地実習学習法A	1	30	90分 × 20コマ	演習
開講年度および時期	担当教員および実務経験	評価方法		教科書及び参考資料他	
2021年度 後期	船奥 律子	1) 事前学習レポート(60点)		臨地実習ハンドブック(クインテッセンス出版)	
	歯科診療所、病院、介護施設、保育園、小学校、地域包括支援センター等での歯科衛生業務経験がある教員が、臨床・臨地実習の事前学習、実習計画、学習法などを指導する科目である。	2) 実習報告レポート(20点)		臨地実習ハンドブック(クインテッセンス出版)	
		3) 実習(20点)		デンタルスタッフのための歯科保険診療ハンドブック (月刊保団連)	
一般目標	臨床実習の学びを充実させるために、実習の開始前・実習中・終了後の学び方を学習し、主体性を持って学ぶことができる能力を修得する。				
到達目標	①オリエンテーションを理解できる。 ②臨地実習施設での学び方を学修する。 ③実習に必要な事前学習を行う。 ④臨地実習で学んだことを振り返る。				
授業計画					
回	単元	内容			備考
1	臨地実習を始める前に	オリエンテーション、歯科衛生士の役割、臨地実習の目的・目標・評価			
2		実習生としての心構え、望ましい実習態度			
3	前期臨地実習効果を高めるための準備	実習の心得、医療安全・事故発生時の対応			実習
4		実習体験チェックリスト表の活用法、実習記録のまとめ方			
5	実習効果を高めるための準備	事前学習①			事前学習レポート
6					
7	実習効果を高めるための準備	事前学習②			事前学習レポート
8					
9	実習効果を高めるための準備	事前学習③			事前学習レポート
10					
11	前期臨地実習の振り返り	実習記録の整理、実習報告レポート、自己評価			実習ファイル・チェック表提出 実習報告レポート
12		実習施設からの評価表確認、実習報告会の資料作成			
13	後期臨地実習(徳島大学病院)の実習効果を高めるための準備	オリエンテーション、歯科衛生士の役割、臨地実習の目的・目標・評価			事前学習レポート
14		事前学習④			
15	実習効果を高めるための準備	事前学習⑤			事前学習レポート
16					
17	実習効果を高めるための準備	事前学習⑥			事前学習レポート
18					
19	後期臨地実習の振り返り	実習記録の整理、実習報告レポート、自己評価			実習ファイル・チェック表提出 実習報告レポート
20		実習施設からの評価表確認			

分野	授業科目名	単位	時間数(時間)	授業回数(1コマ90分)	授業形態
選択分野 51	訪問介護技術	3	130	—	講義
開講年度および時期	担当教員および実務経験	評価方法		教科書及び参考資料他	
2021年度 前期・後期	中川 弘 他16名	1)科目終了時の学科試験(100点) 2)合格者には「終了証明書」を授与する		介護職員初任者研修テキスト (ミネルヴァ書房)	
	この科目は各単元実務経験のある教員によるオムニバス形式で構成される。介護員養成研修事業所で徳島県知事に認可されており、実務経験の詳細は学校ホームページに掲載公表している。				
一般目標	要介護者への歯科衛生業務を安全に行うために、介護や社会福祉サービスの知識や技術を修得する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①介護を必要とする要介護者の説明ができる。 ②介護に関するボディメカニクスが説明できる。 ③整容の介護ができる。 ④移動・移乗の介護ができる。 ⑤食事の介護ができる。 ⑥入浴清潔保持の介護ができる。 ⑦排泄の介助ができる。 				
授業計画					
回	単元	形態	内容		備考
			研修開始前にオリエンテーションを開催し、資料を配布する。 学校ホームページに「介護職員初任者研修」について掲載公表しており、その内容は以下のとおりである。 (1)介護職員初任者研修について (2)講義予定表 (3)講師一覧		